

各 位

令和元年 7 月 1 5 日
山形市野草園 : 山形市大字神尾 832-3
電話 023-634-4120

山形市野草園からのお知らせ



百合の女王ヤマユリ 《その清楚な美しさと甘い香り》

ヤマユリ（ユリ科）

本州中部から北の山地に生える日本特産の多年草です。茎の高さは1～1.5mで直立していますが、花径が20cmもある大形の花を茎の上に数個つけるので、その重みによって少し倒れることさえあります。6個の花被片は白く、真ん中に黄色い筋が入り赤褐色のたくさんの斑点があります。雄しべの葯は赤くて目立ち、また、花には強い芳香があります。

本格的な夏の訪れ間近、二十四節気の大暑が近づくとつれヤマユリの蕾が大きく膨らんできました。7月下旬の野草園は、ヤマユリの優雅な姿にあふれ、何とも言えない芳香に包まれます。その清楚な美しさと甘い香りは、訪れた人たちを魅了します。

白色のヤマユリだけでなく、橙色のクルマユリ、コオニユリ、オニユリが間もなく開花を迎え、夏の野草園に鮮やかな彩をもたらします。

木蔭を歩きながら、ひっそりと優しく咲く野の花を愛でるひと時、みなさんにとって心の休息の時間となることでしょう。いこいとやすらぎの場、「山形市野草園」に足を運んでみませんか。お待ちしております。

7月中旬から8月上旬のイベント

◆【絶滅危惧植物パネル展】

- 期 間 7/13(土)～8/18(日) 9:00～18:00
- 内 容 園内に咲いている絶滅危惧植物の花の写真などを展示。
- 場 所 野草園自然学習センター内
- 費 用 入園料 300 円のみ (高校生以下無料)

◆【ガイドウォーキング】

- 日 時 7/21(日) 28(日)、
8/4(日) 11(日) 山の日 12(月) 振替休日
1回目 10:00～11:00 2回目 11:00～12:00 3回目 13:00～14:00 4回目 14:00～15:00
- 内 容 ボランティアガイドと一緒に園内を散策します。申し込み不要。
見頃の花の場所にご案内いたします。
- 費 用 入園料 300 円のみ (高校生以下無料)

◆【木工工作教室】

- 日 時 7/21(日)、8/12(月:振替休日) 10:00～12:00
- 講 師 植物案内ボランティア、野草園職員
- 内 容 自由に工作。材料は園内で集めた木の枝、工具や接着剤等は野草園で準備します。
- 場 所 自然学習センター ピロティ周辺
- 参加費 入園料 300 円のみ (高校生以下無料)
- 対 象 各日小学生親子先着 20 組
- 申込み 電話で野草園まで: TEL 023-634-4120

◆【星空を見る会】

- 日 時 7/21(日) 8/12(月:振替休日) 19:00～20:30
- 講 師 「NPO法人 小さな天文学者の会」加藤 到 氏
- 内 容 夏の夜空に見られる星座の見つけ方 天体望遠鏡での星の観察
映像を視聴し、宇宙についての理解を深めて頂きます。
- 場 所 自然学習センター前の中央広場
- 対 象 各日先着 25 名 (両日定員に達したため締め切りました)
- 参加費 入園料 300 円のみ (高校生以下無料)
- 持ち物 虫よけ、レジャーシート
- 申込み 電話で野草園まで: TEL 023-634-4120 *雨天の場合は中止

◆【工作コーナー】

- 日 時 7/23(土)～8/18(日) 10:00～16:00
- 場 所 自然学習センター ピロティ
- 内 容 木工工作づくりを親子で体験
材料は園内で集めた木の枝、工具や接着剤等は野草園で準備します。 申込不要。
- 参加費 入園料 300 円のみ (高校生以下無料)

◆【お山マルシェ】

- 日 時 7/27(土) 10:00~15:00 ○場 所 中央広場
○内 容 キッチンカーなどの出店
○出 店 miging café (フィッシュ&チップス・ナポリタン) 風土然 (旬の野菜を使ったお弁当)
Ride4Style (バブルワッフル・ホットドッグ) 石屋 (中華そば)
カフェヒマラヤ (ネパールカレー・から揚げ)
里山虹と森のカフェ (焼きそば・タピオカドリンク等)
○費 用 入園料 300 円 (高校生以下無料) と飲食代

【ラベンダーパラソル教室】

- 日 時 7/27(土) 10:00~12:00
○講 師 ハーブライフ&ガーデン 佐竹文子 氏
○内 容 野草園のラベンダーを使った香りのパラソル作り
○場 所 自然学習センター ピロティ
○材料費 パラソル 1 本 400 円 (入園料 300 円別)
○対 象 先着 30 名 ○申込み 電話で野草園まで : Tel 023-634-4120

【薪割り体験】

- 日 時 7/27(土) 11:00~12:00 14:00~15:00 (午前と午後の 2 回)
○内 容 薪割りを体験する (ストーブ用の薪 1 束プレゼント)
○申込み 当日受付 各回先着 20 組 ○費 用 入園料 300 円のみ (高校生以下無料)

【虫博士と遊ぼう】

- 日 時 7/27(土) 13:00~15:00
○内 容 虫博士と一緒に虫を探そう
○申込み 当日受付 ○費 用 入園料 300 円のみ (高校生以下無料)

◆【テラリウム教室】

- 日 時 7/28(日) 10:00~11:00
○講 師 風の呼 佐藤絵理子 氏
○内 容 テラリウム作り (ガラス容器にコケや植物を美しく配置して部屋での栽培を楽しむ)
○場 所 自然学習センター ピロティ
○材料費 入園料込 2300 円 (高校生以下 2000 円)
○対 象 先着 10 名 ○申込み 電話で野草園まで : Tel 023-634-4120

◆【草木染め教室】

- 日 時 8/11(日 : 山の日) 13:00~15:00
○講 師 野草園職員
○内 容 園内の植物などを使ったハンカチの染色実験
○場 所 自然学習センター ピロティ
○参加費 材料費 1 組 500 円 (入園料 300 円別) ○持ち物 汚れてもいい服装
○対 象 小学生親子先着 10 組 ○申込み 電話で野草園まで : Tel 023-634-4120

●●●7月後半に見られる主な花●●●



メタカラコウ(キク科)

深山の湿地に生える多年草で、茎は直立して枝分かれしません。葉には長い柄があり、三角状心形です。茎の先に黄色い花を総状につけ、花は数枚の舌状花があり、中央に筒状花が集まっています。雄タカラコウよりもやさしいつくりであることが雌タカラコウの名の由来です。



ヤナギラン(アカバナ科)

山地の日当たりのよいところに生える、高さ50～150cmの多年草です。茎は直立して枝分かれせず、葉は互生し披針形で葉柄がなく裏面はやや白色を帯びています。茎の先に多数の紅紫色の花を開き、だんだん下から上へ咲き上がります。花が美しい蘭に、葉が柳に似ていることが名の由来です。



キクイモモドキ(キク科)

日当たりの良い所に生育する多年草です。草丈1m程で、黄色の舌状花と筒状花からつくられ、まるで小さなヒマワリのような、繁殖力の強い花です。キクイモ(菊芋)によく似ていることが名の由来です。モドキですので、根茎の先に芋はできません。



オカトラノオ(サクラソウ科)

山地や丘陵などの日当たりのよい草地に生える多年草です。茎は直立し、ほとんど枝分かれせず基部は紅色をおびます。葉は互生し短い柄があり長楕円状披針形です。茎の頂きに一方に傾いた総状花序を作り、多数の小さな白い花を密につけます。岡によく見られ、花穂がトラの尾に似ることが名の由来です。



クサレダマ(サクラソウ科)

野や山の湿地に生える多年草で、茎は直立しほとんど枝分かれしません。葉は対生または3～4枚輪生します。上部で枝を分けて多数の黄色い花をつけます。名は腐れ玉ではなく、地中海原産のマメ科の低木レダマ(連玉)に似た草という意味です。クサのレダマと説明すると間違いません。



サボンソウ (ナデシコ科)

ヨーロッパ原産で、明治時代に入ってきた多年草です。葉は対生し、長楕円状披針形です。枝の先に淡紅色または白色の花を集めてつけます。葉を水に浸すと石鹼と同様の作用があり、かつては代用品として使われました。しかし、有毒ですので口には入れてはいけません。サポニンを多く含んでいることが、名の由来です。



カライトソウ (バラ科)

山の草原に自生し、草丈は1m程、茎は上の方でよく枝分かれます。葉は楕円形で、縁に波形のギザギザが入ります。穂状の花は先端から根元に向かって咲き、花弁はなく、雄しべが紅紫色で長く、花の外に突出したような感じになります。雄しべを唐糸(絹)に見立てたことが名の由来です。



ミソハギ (ミソハギ科)

野原や山すその湿地に生える多年草です。茎は直立し高さ50~100cm、上部で多く分枝します。葉は対生し、披針形で長さ2~6cmです。花は葉腋に1~3個ずつ付き、萼は筒状で、先が6裂します。花弁は紅紫色で6個が普通です。切花にして仏壇や墓に供えることが、「禊ぎ萩」の名の由来です。



クサキョウチクトウ (ハナシノブ科)

北アメリカ原産の多年草で、葉は対生しますが、時には3枚輪生します。葉柄はごく短く、いくぶん茎を抱くようになります。茎頂に紅紫色の花を多数つけます。花は下部が細い筒となり、上部は花弁が5裂して平らに開き、回旋してひだ状に重なります。草本ですが、花が木本キョウチクトウに似ていることが名の由来です。



ガクアジサイ(アジサイ科)

暖かい地方の山地などに生える背丈2m程の落葉低木です。葉は長卵形で厚く、茎先に大形の花序を付けます。中心部に小さい青色の両性花が密集します。周りは萼片が変化した4枚の白い装飾花で、それが額縁のように見えることが名の由来です。



千ダケサシ(ユキシタ科)

やや湿った山野に生える多年草です。葉は2～3回羽状複葉で、小葉は楕円形または倒卵形です。縁には不ぞろいの鋸歯があります。花茎の先に淡紅色や白色の小さな花を多数つけます。チダケ(乳茸:傷をつけると白色の乳液を分泌する食用キノコ)を採ると、この草の茎に刺して持ち帰ったことが名の由来です。



ネムノキ(マメ科)

山地や原野、川岸などに生える落葉高木です。葉は大形の偶数2回羽状複葉で、羽片は7～12対、小葉は18～29対あります。夜になると小葉が眠るように閉じます。枝先に10～20個の紅色の花を散形状につけます。花は花弁が合体し、上部だけが5片に分かれ、淡紅色のたくさんの長い雄しべが目立ちます。雌しべは白色の糸状で雄しべより少し長いようです。



カワラナデシコ(ナデシコ科)

各地の山野に自生する多年生草本です。葉は対生し、線形または披針形で、基部は茎を少し抱きます。花茎の先に咲く淡紅紫色の花は花弁の先が細かく裂けて優美です。秋の七草のひとつに数えられていますが、7月には咲き始めます。河原に生える、可憐な花の様子が名の由来です。



ヒヨドリバナ(キク科)

山野に生える多年草で、草丈が1～2mになり、葉は短柄で対生します。茎先に散房状に多数の白色の花を付けます。まれに薄い紅色を帯びる時もあります。花は筒状花だけの集まりで、雌しべの花柱が2つに分かれて長く伸びています。ヒヨドリが鳴く頃に花が咲くことが名前の由来といわれています。



キキョウ(キキョウ科)

日当たりのよい山地や野原などに生える多年草で、観賞用にも多く栽培され、八重咲きや白花などの園芸品種も多くあります。根は太く黄白色をしており薬用とされています。葉は長卵形で先は尖り、ふちには鋸歯があります。茎の上部に青紫色の鐘形5裂の花を開きます。秋の七草でいうアサガオはキキョウのことだといわれています。



リョウズ (リョウズ科)

山林の中に生える落葉の小高木で、樹皮は薄片となつてはがれ、残りは茶褐色でなめらかです。葉は枝先に集まって互生し広い倒披針形です。枝先に小さな白い花を密につけます。木肌がきれいなので、薄片をつけたまま床柱として使われました。昔、若い葉を保存しておき、救援食物としても使われました。



ヤブカンソウ (ススキノキ科)

野原などの日当たりの良い所に生える多年草です。葉は広線形、鮮緑色で先は下垂しています。若葉はおいしい山菜のひとつです。葉の間から花茎を出して上部に黄赤色の花を数個つけます。雄しべや雌しべは花弁のようになり、八重咲きになります。果実はできず、根茎から横につるを出して繁殖します。



オニユリ (ユリ科)

真っ直ぐに1~2m伸びた茎の頂に、径10~12cmの朱色の花を数個つけます。花被片は、赤橙色で暗紫色の斑点が多数あり、強く反り返ります。長い雄しべと葯の紫色も目立ちますが、それ以上に葉の基部に付くムカゴが目立ち、他のものと見分ける大きな特徴になります。鱗茎を食用にするために渡来したようで、花の色が鬼を思わせることが名の由来です。



コオニユリ (ユリ科)

日当たりの良い湿り気のある山地に生える多年草です。葉は線状披針形で、葉のわきにオニユリのようにムカゴはつきません。茎の先端に黄赤色の花をつけます。花の数はオニユリよりも少なく、形も少し小さいようです。花弁は6個あり、上部はそり返り内側には紫黒色の小点がまばらにあります。オニユリよりも小さいことが名の由来です。



クルマユリ (ユリ科)

本州中部以北の亜高山帯の草原などに生える多年草です。葉は茎の中央部付近に6~15枚が輪生し、その上部に3~4枚がまばらにつきます。茎の先に長い柄を分枝して、黄赤色の花をつけて下を向いています。花びらはせまい披針形で広く基部から開いてそり返ります。葉が放射状についている様子を車輪にたとえたことが名の由来です。